

基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 2022 年 12 月 1 日

設置・運営主体	所沢市		
設置主体	社会福祉法人 所沢市社会福祉協議会		
経営主体	社会福祉法人 所沢市社会福祉協議会		
事業所名 (施設名)	所沢市立プロペラ	種別	生活介護
所在地	〒 359-0012 所沢市坂之下673-1		
電 話	04-2945-7777		
FAX	04-2945-7161		
Email	sdc@gaea.ocn.ne.jp		
U R L	http://www.toko-shakyo.or.jp/katsudou/propeller.html		
施設長氏名	倉部陽司		
調査対応担当者	鈴木広美 (所属、職名：所沢市立プロペラ サービス管理責任者)		
利用定員	40 名	開設年	平成 14 年 3 月 1 日
理念・基本方針			
<p>所沢市社会福祉協議会の使命・理念・基本方針</p> <p>1) 使命「市民と一緒に！健やかに 自分らしく暮らせる 支え合う 心やさしいまち」</p> <p>2) 運営理念</p> <p>①住民参加・協働による福祉社会の実現</p> <p>②地域における利用者本位の福祉サービスの実現</p> <p>③地域に根ざした総合的な支援体制の実現</p> <p>④地域の福祉ニーズに基づく先駆的な取組へのたゆみない挑戦</p> <p>3) 運営方針</p> <p>①地域に開かれた組織として、運営の透明性と中立性・公正さの確保を図ると共に、情報公開や説明責任を果たす。</p> <p>②事業の展開にあたって、住民参加を徹底する</p> <p>③事業の効果測定やコスト把握などの事業評価を適切に行い、効果的で効率的な自律した経営を行う。</p> <p>④全て従業員は、高潔な倫理を保持し、法令を順守する。</p> <p>4) 行動指針「ささえる つながる みつけだす 所沢社協」</p> <p>所沢市立プロペラ運営方針</p> <p>1) 一人ひとりの利用者に対し人としての尊厳を守り、個々のニーズを踏まえた個別支援計画のもと、障がいがあっても一人の社会人として充実した日中の生活を送ることができるよう支援をすすめます。</p> <p>2) 地域の人たちと共に行動し情報発信を行うことで、地域の福祉資源として地域の人たちから必要とされる施設づくりを目指すとともに障がい者差別のないまちづくりに貢献できることを目指します。</p> <p>所沢市立プロペラ支援方針</p> <p>1) 多様な経験活動を提供し、利用者と共に考え行動することをとおして、利用者の意思決定を支える支援を行います。</p> <p>2) 障害者相談支援事業所と連携して利用者やご家族の願いをもとに関係機関と共に行動し、利用者やご家族が将来を展望できる支援を行います。</p> <p>3) 危機管理体制を強化し、緊急時にも利用者が安心して利用できる環境を作ります。</p> <p>4) 所沢市自立支援協議会の活動に積極的に参加し、虐待防止の取り組みや利用者の権利擁護を進めます。</p>			
開所/退所時間 (通所施設のみ)	午前8時30分/午後4時30分		

【利用者の状況に関する事項】

○利用者の年齢

18歳未満	18～20歳未満	20～25歳未満	25～30歳未満	30～35歳未満	35～40歳未満
0名	1名	7名	4名	6名	14名
40～45歳未満	45～50歳未満	50～55歳未満	55～60歳未満	60～65歳未満	65歳以上
5名	3名	0名	2名	0名	2名
合 計					44名

○障害等の状況

・身体障害（障害者手帳を所持している利用者についてご記入ください。）

障害区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級
視覚障害	名	名	名	名	名	名	名
聴覚又は平衡機能の障害	名	名	名	名	名	名	名
音声・言語、そしゃく機能の障害	名	名	名	名	名	名	名
肢体不自由	3名	名	名	名	名	名	名
内部障害（心臓・腎臓、ぼうこう他）	名	名	名	名	名	名	名
重複障害（別掲）	12名	7名	2名	1名	1名	1名	名
合 計	15名	7名	2名	1名	1名	1名	名

※区分が異なる複数障害で等級の認定がなされている場合は「重複障害」に記入ください。

・知的障害（療育手帳を所持している利用者についてご記入ください。）

A ※	B	C
36名	4名	名

※「A」には丸付きのAを含む。

・精神障害（精神障害者保健福祉手帳を所持している利用者についてご記入ください。）

精神疾患の区分	1級	2級	3級
統合失調症	名	1名	名
そううつ病	名	名	名
非定型精神病	名	名	名
てんかん	名	名	名
中毒精神病	名	名	名
器質精神病	名	名	名
その他の精神疾患	名	名	名
合 計	名	1名	名

○要介護区分の状況（介護保険対象サービス事業所のみご記入ください。）

自立・要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
名	名	名	名	名	名

○サービス利用期間の状況

～6か月未満	6か月～1年	1年～2年	2年～3年	3年～4年	4年～5年
1名	1名	3名	3名	1名	1名
5年～6年	6年～7年	7年～8年	8年～9年	9年～10年	10年～11年
3名	3名	4名	1名	0名	1名
11年～12年	12年～13年	13年～14年	14年～15年	15年～16年	16年～17年
1名	1名	2名	0名	2名	2名
17年～18年	18年～19年	19年～20年	20年以上		
4名	1名	4名	5名		

(平均利用期間： 11年)

【職員の状況に関する事項】

	総数	施設長	事務員	主任指導員	指導員
常勤	16名	1名	名	7名	4名
非常勤	11名	名	2名	名	6名
	主任介護職員	介護職員	保育士	看護師	OT、PT
常勤	名	名	名	2名	1名
非常勤	名	名	名	2名	名
	栄養士	介助員	調理員等	医師	その他
常勤	名	名	名	名	1名
非常勤	名	名	名	名	1名

○他の有資格者数

社会福祉士	3名 (名)
介護福祉士	7名 (4名)
精神保健福祉士	1名 (名)
保育士	2名 (名)
ヘルパー1級	1名 (1名)
ヘルパー2級	5名 (3名)
	名 (名)

(非常勤職員の有資格者数は () に記入)

【本来事業に併設して行っている事業】

(例) 救護施設における通所事業 (定員5名)

- ・特になし

【ボランティア等の受け入れに関する事項】

- ・令和4年度におけるボランティアの受け入れ数 (延べ人数)

18人

- ・ボランティアの業務

- ・利用者との交流を基本とし、行事や活動の協力の他に自主生産品の縫製等を依頼している。
- ・本年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、制限等を行いながら実施している。

【実習生の受け入れ】

- ・令和4年度における実習生の受け入れ数 (実数)

社会福祉士	人
介護福祉士	人
その他	5人

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準 (昭和56年) に基づいて記入。

(1) 建物面積	874.99 m ²	
	入所(通所)者1人あたり 21.87 m ² (延べ床面積÷定員)	
(2) 耐火・耐震構造	耐火 <input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ	
	耐震 <input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ	
(3) 建築 (含大改築) 年	平成 14年	

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設（事業所）において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

・利用者及び家族面談：利用者・家族から直接意見を聴く機会、個別支援計画作成（同意）や評価の説明のため、年に3回の個別面談を実施している。言語での表現が難しい利用者についても、日々の支援場面での丁寧なやりとりの積み重ねをもとに、一人ひとりにあった方法を工夫しながら聴き取りを行っている。令和2年度から、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、家族に対しては書面での面談に変更をする場合があった。

・利用者ミーティング：活動の中で週1回実施。その週の報告や次週の予定の確認、その他伝えたいことを報告し合う活動としている。また、より自治活動として意見を発表し合う経験が積めるように、数か月に1回程度一つのテーマについて話し合う機会も設けている。日々の支援から見えてくる利用者のニーズを受け止める活動であり、また施設でのことについて皆で共有する機会でもある。

・毎年「嗜好調査」や「選択メニュー」を実施し利用者満足度に繋げている。

・令和3年度から年1回「利用者満足度調査」を実施している。

・家族会：年に2回実施。施設の年間計画や業務報告、学習会を実施しながら意見交換ができる機会としている。

・その他：法人として「社会福祉法人所沢市社会福祉協議会サービスの適正に関する規定」に基づき苦情解決の体制を整備している。

【その他特記事項】

・平成31年4月から5年間、所沢市から指定管理者として指定を受けている。今年度は4年目になる。開所以来、利用者一人ひとりの尊厳を守り、充実した日中の生活が過ごせるような活動の展開と支援、地域に根差した施設づくりを目標に運営してきた。

・コロナ禍においては、利用者や家族、職員、関係機関、ボランティアや地域住民等の協力のもと感染症対策を実施しながら活動を進めてきた。感染症予防のため活動場所や活動人数等に制限が生じますが、その都度工夫しながら計画・調整を行っている。今年度に入り少しずつ地域行事が再開され、可能な範囲で交流を深めるなどの取り組みをしている。

・平均年齢は36.7歳ですが、平均障害支援区分5.3と重度の知的障害や重複障害の利用者が在籍し、年齢とともに年々機能低下が見られ、介助の度合いが増加している。また、家族の高齢化も伴い、将来的な展望を見据え関係機関との連携が重要となっている。

・建物の老朽化に伴い修理修繕箇所が増えており、所沢市福祉部障害福祉課と調整しながら適宜対応している。

・特別支援学校等に在籍している医療的ケアの児童・生徒が年々増加していることから、卒業後の進路先としての受入を予測した事業運営が求められてきている。

【第三者評価の受審状況】

・合計受審回数 前回の受審時期

6 回 (令和2 年度)